

観光振興対策特別委員会記録

開催日時 平成26年11月25日(火) 13:03~14:27

開催場所 第1委員会室

出席委員 8名

岩田 国夫 委員長

辻本 黎士 副委員長

小林 照代 委員

大坪 宏通 委員

畠 真夕美 委員

森川 喜之 委員

粒谷 友示 委員

梶川 虔二 委員

欠席委員 なし

出席理事者 福井 観光局長

林 まちづくり推進局長 ほか、関係職員

傍聴者 なし

議 事

(1) 12月定例県議会提出予定議案について

(2) その他

<質疑応答>

○岩田委員長 それでは、ただいまの説明、その他の事項も含めて質疑があればご発言お願いいたします。

○大坪委員 それでは、1点質問をさせていただきたいと思います。この県庁の北側庁舎の東側の登大路北駐車場についてお伺いをしたいと思います。今、奈良市内も大変な観光シーズンでございまして、もう正倉院展の前からかなりの通行量、そしてまた観光客の方もたくさんお見えになっておられます。

そのような中で、この国道369号を通らせていただくのですけれども、南側から県庁のほうへ参りますと、ひどいときでしたら福智院の交差点あたりから混んでいる。また、県庁東の交差点まで来ても、2回、3回とそこで信号が変わるのを待ちました。なぜこんなに動かないのかと思いましたが、実はこの平日、土日も含めまして、今、開放されてい

まず登大路北駐車場に入る車が、駐車場の入り口からあふれて国道のところまで出ていると。このことによって近鉄方面からも左折ができない。そしてまた福智院北方面からも直進ができない状況になっているときがあります。

ちょうど昨日も満車の表示が表に出ていたのですが、警備員の方が入り口のほうにおられて、信号のところには出てきておられない。ということは、満車と書いてあっても、やはりその場所に入りたいという方はそこへずっと並んでおられて、結局は道路に連なって待っておられると。これは、せめて表に出て車を流して、ここはとめられませんかよと直接言っただいて、民間の駐車場へも誘導をしていただければ、もう少しスムーズな通行ができるのではないかと考えております。確かに施設の開放もいいことなのですが、サービスをつもりでやったことが、かえって周りの状況に悪影響を及ぼすというのでありましたら、幾らいいことをやっても結果的にはほかの方にも迷惑をかける。また、観光客の方々の利便に関してもご迷惑をおかけすることになってくると思うのです。そのあたりの状況をどのように把握されているのかお伺いをしたいと思います。

○中西知事公室審議官（奈良公園・観光振興プロジェクト担当） 大坪委員からのご質問についてでございますが、まず登大路北駐車場というのは、去年の4月までは来庁者限定の駐車場とさせていただいていたのですが、よくご存じの方は2時間無料と知っておられて、来庁者なのかという方も含めてとめておられたのも事実でございます。

その中で、今回場所的に奈良公園の入り口ということもあり、広い意味でいろいろな方に使っていただけるように、平日も2時間無料のみならず、観光客の方には1,000円を払っておとめいただけるようにした次第でございます。おおむね利用者からは、今まで文化会館を利用するにも、税金の申告をするにもとめられなかったのに、非常に便利になったと好評はいただいておりますが、委員がご指摘のように、渋滞が以前にも増して非常にふえてきているのは事実でございます。ただ、その理由としましては、奈良県が去年から観光キャンペーンで、奈良県へ来ていただこうと非常に強くやってきた結果が出てきておりまして、特にこの3日間の渋滞は非常にすさまじいものがございました。登大路北駐車場で満車、ここではとめないでくださいと再三お願いしているのですが、観光客が国道にとめられて、さらに道路が動きにくくなって渋滞を促進させている部分はあるといえます。実はきのう、おとといは警察からも4人出て対応したのですが、なかなか言うことを聞いていただけなかったという状況だと聞いています。

ガードマンにつきましては、正倉院展が終わった段階で、経費削減の問題もございませ

て、平日は一旦ガードマンを引き上げたのですけれども、まだ紅葉シーズンでございますので、平日、土日関係なく、たくさんのお客さんに来ていただいていることから、またガードマン対応をさせていただいたところです。

それから、国道に出ていく車に関しては、警察とも今後はどういう形がいいのかを含めて協議をしたい。ただ、ガードマンは国道に出て、規制もしくは道路交通に絡む行為はできませんので、あくまでも県庁の駐車場の前で札を持って、とめないでください、通してあげてくださいとお願いするしかないと考えています。ただ、道路渋滞に関して言いますと前々から、例えば奈良公園周辺は非常に混んでいるのですが、JR奈良駅周辺、特にホテル日航奈良の地下にございます奈良市営駐車場が満車になることもございません。JR奈良駅周辺にはたくさんの駐車場がまだまだあいていることをしっかりと伝えて、何とかここまで突っ込んでこられる車を抑えられるように対策をとっていきたいと考えているところでございます。

○大坪委員 どうもありがとうございます。

この登大路の駐車場が閉鎖になりまして、その対策という面もあると思うのですが、この駐車場が整備されても、多分実際の駐車場機能はもう果たさないと理解しております。奈良は行事が多く、これからもおん祭りや年末年始の行事もあります。その後もお水取りなりなんなりと、行事がたくさんあるわけですけれども、多分これからたくさんの方が来られることを考えますと、土日の開放につきましては、有効利用という面と、サービスという面ではいいかと思うのですが、先ほどもおっしゃっていただいたように、道路に関しては警察、そして警備員の方も今は駐車場のゲートの近くにおられます。これをなるべくその敷地内の前のほうへ出て、しっかり対策をとって、とにかく道路の通行を流していくことに取り組んでいただきたいと思うのです。平日には、来庁者がたくさん来られます。奈良市内からでしたらまだいいですけれども、例えば南部地域や東部地域から、1時間も2時間もかけて来られた方が、仕事で来られているのに駐車場に全く入れないという状況はやはり業務にも支障を来してくると思いますので、平日の利用に関しては、やめていただいてもいいのではないかと、その辺も考えていただければありがたいと思うのですが、どうですか。

○中西知事公室審議官（奈良公園・観光振興プロジェクト担当） 平日の来庁者用対応をどうするかというご質問だったと思いますが、先ほども言いましたように、来庁者の限定が非常に難しい。そもそも県庁で大きな会議がある場合は別ですけれども、来られている

のは業者の方であったり、屋上を見に来られている方であったり、県庁周辺に用事があったとめておられる方もあったりと、本当の意味で来庁者に入っただけならいいのですけれども、その線引きがまずできないという部分がある。また、過去に正倉院展のときでしたが、周りの駐車場が全て満車で、その上大渋滞が起きている中で、登大路の北と南に駐車場がまだあったときでございますが、南側の駐車場は行列ができて、ガードマンが胸ぐらをつかまれるかというぐらいの状態になっているのに、北側の駐車場はがらがらだったのです。それに対して県民の方や観光客から、なぜ北側の駐車場をあけないのかというおしかりを受けて、急遽、内部で相談し、土日と同じ対応で職員が出て、駐車場代の1,000円をいただきながら、謝罪するという対応をしたこともございます。ですので、決して県民の方に来ていただく必要はないという気持ちはございません。場所的に、どうしても観光という部分を切り離せない以上、職員、市町村の方、それから業者の方にも、できれば車での県庁への来庁はお控え願いたいということもしっかり言いながら、京都府庁、大阪府庁をはじめ、本来こんな大きな来庁者用駐車場を持っているところはなかなかないことも踏まえて、うまく活用していけるように頑張りたいと思いますので、よろしく願います。

○大坪委員 ありがとうございます。

基本はこの周辺にもたくさんの民間駐車場がありますので、そこへの誘導を第一に考えていただいて、できることであれば、例えばここは県庁来庁者の方の駐車場ですという表示や、観光客の方はご遠慮くださいというぐらいの表示を張っていただいて、いや、私は県庁へ来たのだとおっしゃったら、これはもう仕方がない、区別はできない問題ですから。ただ、そういった形の表示でも考えていただけたらありがたい。確かに奈良県は観光で成り立っている県ですし、もちろんおもてなしの心は持たないといけないことは、十分承知しているのですが、ただ、この渋滞の面や、本来、業務で使う駐車場という観点から考えますと、簡単な表示等でもしていただけたらありがたいと、要望として申し上げておきたいと思います。ありがとうございました。

○岩田委員長 ほかに。

○粒谷委員 HANARARTという事業を県でやっておられるのですけれども、この事業について、大変勉強不足で知らなかった。ことし生駒をメイン会場の1つにしておやりになったのですけれども、このHANARARTの主たる目的は一体何なのかというのをまず1点聞かせてください。

それから、今年度で4回目とのことですがけれども、過去3回の予算はどのくらいお使いになったのか。また、今年度の予算はいかほどお使いになったのかということ。それから、いかほどの方がこの会場に来られたのかということです。そして、これで4回目ですから、前の3回を踏まえてどのような成果と結果があったのかを教えてください。

○林まちづくり推進局長 担当課がおりませんので、私が答えさせていただきます。

予算ですが、手持ち資料がなく正確なところはわかりませんので、また後ほどご説明に伺いたいと思います。まず、これは2011年からやっております、ことしで4年目になります。主な狙いどころは地域振興ということでやっているのですけれども、それに加えまして、会場が重要伝統的建造物保存地区や伝統的建造物保存地区など、古い町並みが多いのです。そこに空き家が目立つようになってきたということで、その空き家の利活用も同時に考えていこうと、地域振興と空き家対策をメインに始めたものでございます。近年になりまして、もう4回目になっていますので地域振興も大分浸透してきまして、自分たちで考えようという形も出てきております。

ご質問にございました来場者数ですがけれども、実は毎年開催の日にちが違います。初年度でございましたら総日数63日で、来場者は4万2,500人ございました。2012年は62日で5万8,500人で、2013年は非常に長い日数、71日間やりました。9万5,300人おいでいただきました。2014年はちょっと減らしまして49日でしたけれども、4万4,900人ということです。割り算しただけですが、土日が多いのですけれども、平日を加えまして平均で毎日1,000人ぐらい来ていただいております。

これはそれ以外にもいろいろな効果がございまして、特に先ほど委員から言っていました生駒ですがけれども、観光振興にも寄与しております、開催したところはもう閉じられている旅館だったのですが、ゴールデンウィークや3連休にしか満室になっていない周りの旅館が、この期間中に2回も満室になったということで、観光振興についても一定寄与しておるものでございます。

今後の方針は、地元がどれだけやる気になっていただけるかでございます、先行しておりました郡山城下町などは自主的な組織ができ上がっております、最も進んでいるのが五條なのですけれども、五條はもうメインの会場にしくても、自分たちで企画も立てられる、会社までつくっていただいております。そのように、地域振興がメインで、それから空き家対策、さらには観光振興にも役立つ形で取り組んでおるところでございます。以上です。

○粒谷委員 担当者の方がおられないので、詳しいことはまた聞きますけれど、今言われましたように、空き家対策で古民家を利用して、現代アートというのをおやりになったということです。目的は、確かにいいと思うのです。特に生駒では、宝山寺門前町が開店休業のような状況の中でメイン会場になり、非常に元気のある1週間というか、若い現代アートの方が来られて、取り組まれたのは大変いいと思うのです。

ただ、1点非常に気になったのが、この現代アートの皆さんの討論会を聞いておりましたら、表現の自由が侵されているということをおっしゃったのです。表現の自由とは一体何なのかと、まだ理解していないのですけれども、この1週間の間にこれを訴えていきたいとおっしゃったのです。この方が県のお金を使って、そして、多分場所は公の施設だと思うのですが、そこで現代アートをおつくりになるというのは、当然表現の自由は制約される部分があると思うのです。自分のお金で自分が民間の土地を借りて現代アートをプレゼンなさるのだったら別によろしい。県の予算を使って、当然お金をいただいておられると思うのです。それで、多分このおっしゃっている会場は大和郡山だと思うのですが、大和郡山市が管理されている施設の中で、当然そのアートをおつくりになったと思うのです。それで自分が制約されたというようなことをおっしゃったのです。非常に理解できない部分があったのです。この現代アートの方が自分の企画でプレゼンをするのだったら好きにやられたらいいですけど、こういう事業の中でおやりになることについて、制約をされることに憤慨されているのは、非常に憤りを感じるというか、疑問を感じておったのです。次からもなさるのでしようけれども、それは一つ注意点として申し上げておきます。整理してまた教えてください。そういう意味では理解できていません。

それと、この事業をやられて、かなりの方がお越しになっているのですけれども、現実的には空き家対策で、それに対して効果はあったともお聞きしております。しかしながら、県としてもかなりの出費をされています、この組んでおられる予算でも。例えば生駒の場合、生駒市が予算措置をされていません。本来空き家対策は、市町村も当然事業としてやらないといけない事業だと思うのです。県だけ金を出すのではなしに、やはりもっと市町村とタイアップしてやらないといけないのではないかと。生駒市の場合も、全くお金を出しておられません。当然、生駒市の協力はありました。広報もしておられました。しかしながら、市民の方がほとんどご存じなかったのです。これで本当にいいのかと、これだけの大きなお金を出して、これだけの事業をやって、もう少しPRの方法もあったのではないかという思いがしたのですけれども、その点についてはどうなのでしょう。

○林まちづくり推進局長 最初にご指摘のあった現代アート作家の話でございますけれども、報告が入っております、もちろん問題で、委員のおっしゃるとおりです。コンセプトが地域と一緒にやってつくり上げようということですので、自分の思うとおりに何でもかんでもやっていただくという話ではありません。なぜそんなことになったかというのは、今、原因を究明しているところです。去年まではそういうことがないように、間に立っているキュレーターというのが、自分の知り合いとか感性で芸術家を呼んでくるのですけれども、そのときにきちんと趣旨も説明しているのです。今回はそのキュレーターの作家に対する説明力が不足していたのではないかとということが少しあります。統括の方も、まとめのときにはそういうことも認めた上で、きちんとやっていくことはこれからも大事ですし、その芸術家も自分の主張をするのだったらおっしゃるとおりで、美術館でも借りればいいわけですから。きちんとルールを守って、一緒につくり上げていきたいと思いますというのを再確認させていただいたのと、これからはそういうことがないように、きちんとやらないといけないという話でございます。

それから、もう一つ、市町村との関係ですけれども、確かに予算は出しては出ていせんが、先ほどおっしゃったような広報や、お手伝いはもちろんしていただいている。ただ、具体的に予算を出して全部一緒にするのは、なかなかそれぞれのご事情があって難しいようでございます。先ほども冒頭で少し触れさせていただきましたけれども、最後までうまく行けば、なれてこられます。先ほども申しあげましたけれど、五條では自分たちで収入を確保して、自分たちで継続した運営をとというのが根づいてきております。その辺まではお手伝いをしていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○粒谷委員 確かにそうなのです。キュレーターの方が討論会でおっしゃったことですが、十二分にうまく趣旨が伝わっていないのかと。自分のプレゼンをしただけのことでおっしゃっているので、違和感を感じたのです。もう少し整理して、またその結果を教えてください。

それと、五條の場合など一つ根づいてきて、県がお金を出さなくても、古民家を改修して新しい事業をなさっている方もあると思うのですが、大和郡山でも何かそういう機運があるとのこと。そうすると、例えば生駒でおやりになった場合に、平成27年の2月にまたエントリーをすることになってくると思うのですけれども、継続されなかったら意味がなくなると思うのです。1回だけだったら、多分生駒の場合でも、それで終わってしまう。古民家というか、旅館の跡地が再利用されるためには、やはり継続されなければい

けないかと思うのです。その点でエントリーをされた場合に今までおやりになったところを優先する形での配慮はなさるのですか。

○林まちづくり推進局長 例えば先ほど問題となっていました大和郡山ですけれども、これは市の財産でございまして、遊郭跡ですけれども、ここは継続して使いたいと市もおっしゃっていますので、こういうところはずっと使っていきます。町家の方は希望者がだんだんふえてきまして、うれしい悲鳴なのですが、それは順番に回したり審査をしたりして決めていくのですけれども、生駒に関しましては、江戸期とか明治の初めごろの建物があるというように、ほかとは違いますので、ここについては手さぐりになっていきます。実際今回は、結構人に集まっていただきました。旅館はそのまま閉じられていますけれども、まだ使うのかということはこれから地元としっかり話し合わなければならない問題だと考えております。ただ、江戸期などの町家があるところについては、同じような方針でやっていきたいと考えております。以上です。

○粒谷委員 最初から申し上げておりますように、非常にいい事業なのですが、やはり継続性も必要だと思うのです。そのためには、メイン会場ではなく、サテライトでもいいと思うのです。初めにメイン会場をやったら、あとはもうサテライトで、地元の方の自主運営もあっていいと思うのです。せっかくの投資をなさるので、できるだけ継続性を持って、事業効果を発揮できるような形になるよう、お願いをしておきたいと思います。また、先ほど申し上げた現代アートの方については、もう少し整理をして、うまく整理できた段階で報告をください。終わります。

○除委員 先ほどの大坪委員に関連しての渋滞対策ですけれども、この連休の2日目、11月23日、山麓のほうで約束をしておりましたので、午後4時過ぎに、県庁の前を通りますと、東向き車線の車がずっとつながってなかなか前に進みませんでした。やっと大仏殿の交差点を渡って東へ行きますと、そこもずっと車がつながってしまして、相当な時間がかかって山麓へ着いたのです。西向き車線を見ますと、午後5時前になりますと、春日大社の駐車場から出る車がずっと西向きにつながっておりました。何とか山麓までたどり着けたのですが、帰りに、次の約束もしていましたので、何とか抜け道がないかと、地元の方をお願いして緊急通路のポールをあけてもらって、前を単車で走ってもらって、その後ろをついていったのですが、東大寺大仏殿の鐘楼の前を通り、東大寺の境内を抜けて、やっと天理線にたどり着きました。でも天理線もいっぱいでしたので、町の中をぐるぐる行きながら次の場所に行ったのですが、あれは今まで経験した中では異常な感じでござい

ました。

夕方4時、5時というところ、大体西向き車線は混むのですが、東向き車線は割方進むのです。ところがその時点でも東向き車線がずっと渋滞しておりました。あそこまで来て、車はどこへ行くのかと見ていると、先ほども大坪委員からございましたが、ただただ真っすぐ行かれて春日大社の駐車場に入られようとしておりましたので、何たることだと思いつながら車の中でいらいらしていたのです。これはずっと奈良市内の課題ですけれども、平成15年よりももっと前ですか、駐車場案内板をつくられたりしていますけれども、誰も見ていませんし、見てもすぐにどこに駐車場があるかわかりません。ガードマンが出ているということは必要なのですけれども、ガードマンにこちらではないと冷たく言われると、奈良に来た人が、何か嫌な気持ちになって帰られたのではないかと思つて心配したりしているのです。ガードマンの方もそれ以上言いようがないですし、ここはだめですなど、としか言えないです。

それで、パークアンドバスライドをやっていると思うのですけれども、一体どうなっているのですか。おっしゃるように、なら100年会館の地下の市営駐車場は、きのうやこの連休中はいっぱいだったのですか。たとえいっぱい、そのバスに乗られたとしても、バスが動かない限りはどうしようもないです。パークアンドバスライドは平城遷都1300年祭のときには1年にわたっての長期間で相当徹底しましたから、ほとんど混雑もなかったのですが、この連休は秋は紅葉ということで集中しました。奈良公園の紅葉にいらっしゃるのはありがたいのですが、マイカーなどの車の渋滞は何とかならないでしょうか。11月23日に、JR奈良駅にいましても、JR奈良駅から三条通りを行かれる観光客が非常に多かったです。というところで、パークアンドバスライドはどうなっているのでしょうか、お聞きしたいと思います。

それともう1点、以前から言ってきておりますが、近鉄奈良駅のエスカレーターです。下りが全然ございません。観光客が大きな荷物を持って上がれるエスカレーターは2カ所ありますけれども、北側にはございませんし、何とか上がって遠回りするしかないのですが、下りがないのです。どうやって大きな荷物を持って下におりるのでしょうか。多分、近鉄奈良駅ビルのエレベーターを使うしかないと思うのですけれども、なかなか来ないです。きょうも学園前駅へ、朝行きましたら、ちゃんと下りのエスカレーターがありました。なぜ近鉄奈良駅にないのか。設置されようとしているいろいろなトラブルがあることは聞いているのですけれども、下りのエスカレーターがないというのは、奈良に来られた観光客に申しわ

けない。大きな荷物を持って空港からのバスに乗り降りするときも、上りはあっても下りはないのはどうやって下の改札まで行くのかと思っているのです。何とか早くつけていただけないかお伺いしておきます。

○中西知事公室審議官（奈良公園・観光振興プロジェクト担当） 先ほどの大坪委員と同様、渋滞へのご質問であったかと思えます。奈良公園周辺の渋滞対策を決して諦めているわけではございません、やはり一番心配しております。観光客がふえてくると、その対応に窮しているというのも事実でございます。除委員のお言葉の中にもありましたが、誘導をしっかりとやるべきではないかと考えています。特に駐車場の案内板を誰も見ていないというおしかりを受けたところでございますが、案内板につきましても、確かに個人の駐車場の名前が入っていて、これが一体何を意味しているのかもよくわからないような案内板だとも聞いております。これについては奈良市とも連携しながらわかりやすい案内板に変えると同時に、できるだけ高天交差点から東を向いて走っても今は空駐車場はありませんとしっかり誘導できるように考えていきたい。ゴールデンウィークであってもどんなときでも必ずあいていると自信を持ってお勧めできる駐車場を、個人的には幾つも持っているのですが、なかなか観光客の方にはそこがわかりにくい。大宮通りを気分よく走ってきて、高天交差点まで調子よく来たものですから、行けるのだろうと入ってこられる。無理をして1～2時間待ってとめられた方は、今度夕方の4時半や5時に帰るときに、県営プール跡地のところへ行くまでに大体1時間から1時間半かかって、電話でもう二度と行かないとおしかりを受けるような次第でございます。この渋滞対策については何とか民間駐車場もフルに活用しながら、関係機関ともしっかり連携して、今まで以上に頑張っていきたいと思えます。

それから、詳細はまた後ほど説明いたしますが、ぐるっとバスもほとんど大渋滞に巻き込まれ、予定の時間をはるかにオーバーしてなかなか来ない状況になっていたとも聞いております。あくまでも渋滞が原因であるということは重々わかっておりますので、観光客はふえても渋滞は何とか減らせるように、関係機関と連携して頑張っていきたいと思えますのでよろしくお願いします。以上でございます。

○堀内道路環境課長 近鉄奈良駅のエスカレーター、特に下りのエスカレーターの設置についてのご質問に答えさせていただきます。

近鉄奈良駅というのは当然、玄関口と一緒にございますので、エスカレーター等の充実は、特に下りがありませんし、来訪される方の利便性やバリアフリーといった観点からも、

当然必要なものと認識しております。そのこともございまして、昨年度、近鉄に対しましてエスカレーターの設置、エレベーターの設置も含めて、利便性の向上ということで、大分、調整、協議をさせていただきましたが、残念ながらご理解を得られなかったということでございます。このため、近鉄奈良駅のエスカレーターの充実につきましては、現状のまま取り組んでいない状況でございます。今後、近鉄のご理解等を得られるようでしたら前向きに考えていきたいと考えております。以上でございます。

○除委員 決して中西知事公室審議官ひとりの責任ではございませんし、奈良県を観光産業県として捉えるならば、観光客に来ていただかないとまず観光産業にはなりません。おっしゃるように、高天交差点まで来た車はもう東へ向くだけです。何とかそれ以前にパークしていただかないと絶対渋滞しますので、もう一度抜本的に考えていかないといけないのではないか。県庁が観光化していますので、寄って来られる方もいらっしゃるし、屋上へ登られる方もいらっしゃる。ただ、高齢者、障害者に関してはごく近くまで来ていただけるように、前々から取り組んでいらっしゃると思うのですが、それがなかなかうまくいっていない。

京都もすごい混雑だったらしいです。京都に行かれた方がおっしゃっていました。今日の新聞を見ましたら、斑鳩町もホテル建設に乗り出すということです。連休初日の11月22日、国道25号を走っていましたが、やはり渋滞でございました。さらにこういうホテルや商店街をつくるようになったら、観光客は現在もたくさん来ていらっしゃいますし、観光産業県の奈良県としては渋滞対策をしっかりと今後考えていけないといけないのではないかと考えております。よろしくお願ひしたいと思ひます。そう言うしかないので、お願ひしておきます。

それから、近鉄奈良駅のエスカレーターについては、そういう理由でできないというのは聞いているのですが、それでは何かほかの方法はないのか、早急に考えないといけないのではないですか。相手は近鉄だからといって動かないというのではなくて、エレベーターでもいいし、何でもいいですから。エレベーターもいいのではないですか、ずっと上へ上がれて。4カ所につくればいいのではないですか。早く何かつくってください。これは待てません。毎日のように観光客が来ている奈良県ですし、待てないので、ほかの方法は何かないでしょうか。スロープの通路など。とにかくバグを提げていると、階段がランダムですから上りにくいのです、下るのも大変なのです。何か考えていただけませんか。これは早急に、スピーディーにお願いしたい。多くの観光客のために、また障害

者、高齢者のために、ぜひともいい知恵を出して考えていただきたい。それをお願いするしかございません。よろしくお願いします。

○岩田委員長 要望でよろしいですか。

○除委員 そうですね。

○小林委員 3点の質問をさせていただきます。

1つは、先ほど文化会館周辺整備の基本計画策定の補正予算が出されておりましたけれども、文化会館を利用されている演劇鑑賞会の皆さんから、国際ホールの真ん中の声が通りにくいと、兵庫県でもそういうことがあって改修のときに改良されたことがありますということや、レストランのあったところはどのように使われるかといったご意見が出ておりました、企画立案に参加はできないのかというご意見、ご要望をお聞きしているのです。それで、文化会館の改修内容について、文化会館を利用される多くの皆さんのこのご意見とかご要望は、どのように聞いていただいているのでしょうか。また、改修内容についてはどのようにされるのでしょうか。まずお尋ねをいたします。

それから2点目は、記紀・万葉プロジェクト事業についてです。先日、県立美術館での大古事記展が開館30日目で入館者5万人達成というニュースが伝えられました。2011年度から記紀・万葉プロジェクト事業が始まって4年目で、ちょうど折り返し点の手前ですが、これまで行ってきた事業について、その成果をどう見ておられるのか、市町村との連携、協働の取り組みは目標などに照らして進んだのか、また、記紀・万葉プロジェクト事業によって西和や東和、中南和への観光客誘致、観光振興が進められたのか、今後強めていきたい課題はどんなことなのかについてお尋ねをしたいと思います。

それから、先日、柳生街道によく行かれる方から、案内板がわかりにくいということで、外国人の方もよく来ていらっしゃるようで、外国人への案内板がないけれども、つけるべきではないかと言われました。柳生街道に限らず、外国の観光客の方がふえているという状況があるのですけれども、外国の方にも親切な案内板にしていきたいと思っています。その辺は今、どのようになっているのか、どうしようとされているのか、お聞きしておきたいと思います。以上です。

○竹田文化振興課長 1点目の文化会館の改修につきまして、どのような考えで今後取り組むかというお話でございますけれども、この平成26年12月議会に、文化会館の改修につきまして、美術館及びその周辺地域と一体的に整備する基本計画策定の予算を計上させていただきます。委員がお尋ねの改修内容につきましては、出演者側の意向の反映

について、特に施設の利用者、また出演者からの声を直接聞かせていただく受付スタッフや、舞台運営等の現場スタッフから、この8月に幅広く意見をもらって取りまとめを行っているところでございます。いずれにしても、基本計画をこれから策定するわけでございますけれども、現場スタッフ等の意見を聞き、利用者や出演者の意向を反映させながらの基本計画策定という方向で進めていきたいと思っております。以上でございます。

○谷垣ならの魅力創造課長 記紀・万葉プロジェクトの成果について答えさせていただきます。記紀・万葉プロジェクトにおきましては、地域の歴史を大切にする機運を全国に広げ、それを誘客につなげていくということが全体の目標となっております。その推進に当たりまして、島根県、宮崎県など、記紀・万葉ゆかりの他県はもちろん、県内の市町村との連携を重視して取り組んでまいりました。

まず、市町村、民間団体の主体的な取り組みに対しては、持続的観光力パワーアップ補助金や記紀・万葉県民活動支援補助金など、県の補助制度を設けまして、これを有効に活用していただいております。

また、県が行う取り組みにも市町村や地域の方々に参画をしていただいております。例えば記紀・万葉をテーマにした連続講演会を平成24年度には15カ所、平成25年度には9カ所で県と市町村との共催により実施いたしました。そのほか、交通事業者と連携したキャンペーンを10月から12月に地元市町村とともに実施しているほか、市町村の記紀・万葉イベントを中心に取りまとめたガイドブックを毎年発行いたしております。

また、来年1月に開催する第2回古事記朗唱大会には20人以上の市町村長に出演していただくこととなっております。地域で歴史を活かした誘客や、それを大切にしていこう機運が盛り上がってきていると感じております。県立美術館で大古事記展を開催しておりますが、ここでは石上神宮、大神神社、春日大社、多神社、丹生川上神社中社など、県内の神社のご神宝を展示しております。また、県立美術館のギャラリーには市町村のPRコーナーを設け、記紀・万葉関連を中心としました観光パンフレットの配布をしておりますが、大変にぎわっており、広報成果につながる取り組みとなっております。これからも地元市町村との連携を密にとりながら、記紀・万葉プロジェクトの取り組みが地域の誇り、郷土愛の醸成につながるよう推進していきたいと考えております。以上です。

○吉田観光プロモーション課長 案内板の関係でございます。奈良を訪れる外国人観光客が大変ふえております。柳生街道に限らず、外国人観光客などが迷うことなく目的地まで円滑に移動できるようにするため、多言語による案内板、いわゆる案内表示の整備が必要

と考えております。多言語の案内サインにつきましては、県内の主要な観光ルートをモデルケースといたしまして、英語、中国語、韓国語を母国語とする調査員に外国人目線による観点から、どのような場所にどのような案内板を設置したらいいかなどの現状を調査しているところでございます。こうした調査結果をもとに、多言語案内表示の改善点、整備についての考え方をまとめることとしております。そして、統一した表示になるよう道路管理者などに対しまして多言語案内の整備を働きかけたいと考えております。

なお、多言語につきましては、日本語のほか英語、中国語、韓国語の4カ国語を基本に考えておりますけれども、設置する案内板の大きさや設置場所、あるいは外国人観光客の状況等に応じた言語の検討も必要と考えております。

また、観光案内所やレストラン、トイレなど、いわゆる記号で施設の内容が判明できるものにつきましては、できるだけその記号を活用して見やすさを優先することが必要と考えております。道路や街道などの雰囲気合った案内板の整備を進めていきたいと考えております。以上でございます。

○小林委員 案内板のことも答えていただきまして、いろいろ取り組んでくださっているようですけれども、案内板の箇所について、今ある箇所の他にもっと数をふやしていくことはお考えになっているのでしょうか。至るところでなかなか案内板が見つからないというのを聞いているのですが、それだけ1点、今回のいろいろな取り組みの中でしていただけるのかどうかお聞きしておきます。

それから、記紀・万葉プロジェクトについてはいろいろと精力的に取り組んでいただいておりますので、成果も出ているとのことですので、これは引き続き取り組みを強めていただきたい。

それから、文化会館は県民の文化活動の拠点です。誰もがご承知のように、足場もいいですし、本当に周りの方も文化会館はよく来られるところです。特に国際ホールは演劇や音楽など舞台芸術などを楽しむ人にとっては本当に大切な場所になるのですが、先ほど演劇鑑賞会と言いましたけれども、新劇を中心とした、もちろんその中には歌舞伎もありますし、その他のジャンルの演劇もあるのですが、特に新劇などを中心とした演劇の場合ですと、文化会館の国際ホールのような1,300人という会場の規模は大き過ぎるのです。500人からせいぜい800人が限度と言われているわけです。そういう会場ですので、声が通りにくいという問題を抜本的に解決しようと思えば、非常に難しい問題もいろいろあるかと思っているわけですが、こういう会場の後ろはよく聞こえるそうで

す。ちょうど真ん中では音がいろいろと重なり合ってしまうと、音が聞こえにくいことがあるということです。

実は演劇を親しむ方の中にも高齢になってきて耳の遠い人もいて、兵庫県の会場の場合は、イヤホンで聞こえるコーナーというのをつくって改良されたと聞いているわけです。そういう状況もありまして、奈良県で舞台芸術を本当に広げていくためにも、その辺のことも考えて、今度はどこまでできるかということになるかと思えますけれども、していただきたいと思えます。

それで、演劇鑑賞会からのご意見やご要望だったのですが、特に専門的な団体のご意見をいろいろ聞いていただいているのですけれども、それぞれのジャンルがあると思いますが、個人ばらばらではなくて団体の意見を聞いていただく方法、ルートについてはどのようにしたらいいのか、どうつくっていただけるのか、それだけ確認をさせていただきたいと思えます。

○吉田観光プロモーション課長 外国人観光客向けの多言語による案内板の整備についてお答えさせていただきますと、先ほどもご説明させていただきましたとおり、外国人観光客が迷うことなく目的地まで円滑に移動できるようにするというところでございますので、当然既存の案内板のいろいろな改修もあろうかと思えますし、新たな案内板の設置も視野に入れて考えないといけないと考えております。以上でございます。

○竹田文化振興課長 これから文化会館の改修に絡みますいろいろなご意見等、またご要望につきましては文化振興課を窓口させていただきたいと思えますので、よろしく願いしたいと思えます。

○岩田委員長 よろしいですか。

○小林委員 はい。

○岩田委員長 ほかにございませんか。

○梶川委員 2～3点、質問させていただきます。

1つは、この前、斑鳩町でタクシーに乗ったのですが、運転手が、お客によっては郷土料理を食べられるところへ連れていってくれという要望があるのですけれども、知らないで困りますとおっしゃった。奈良県では予算にも地産地消レストラン云々というようないろいろなものが出ています。奈良市にはそういうものがあるのかどうかわかりませんが、ローカルの場合、こういった郷土料理のレシピのようなものが流されているのか。これは民間の商店で、タクシーも民間ですから、民間の努力に任せるところが大きいといえそ

れまでですが、やはり奈良県へ来てもらって、奈良県の郷土料理、奈良県の農作物を使ってつくった料理というのがあったらと思うのです。この辺は大体どのようになっているのか、もし取り組みがあれば聞かせてほしいと思います。

○乾マーケティング課長 地域の特産品といいますか、郷土料理を出せるお店やレシピを県としてどのような紹介をしているか、どのように取り組んでいるかというご質問だったかと思います。お答えさせていただきます。料理店におきまして県産食材を使用しました郷土料理を提供することは、もちろん料理を通じました県産食材のPRにもなりますし、奈良県の文化を知ってもらう、また食の面からのPRにもつながりまして、特に観光振興の面からも非常に重要なことであろうかと考えております。奈良らしい食のメニューにつきまして、以前より県がいろいろ集めております県産食材を使ったものでありますとか、郷土料理のメニュー、レシピ等がございますので、ご要望がございましたら、一部ホームページ等に載せておりますけれども、ご提供はできるかと思っております。

また以前、平城遷都1300年を契機といたしまして、奈良のうまいものづくりという事業がございました。その時に奈良らしい創作料理の開発も行っていましたので、そのようなことを新たにお考えのお店等には提供できるかと思っております。以上でございます。

○梶川委員 わかりました。しかし、今ホームページを使ってという話もあったのですが、その辺りの一種の宣伝は、民間のやる仕事ですから、県があまり特定の店を宣伝するのは難しいのかもしれませんが、ここへ行けば郷土料理がつくられているというような一定の宣伝というのは大体どうなっているのですか。

○乾マーケティング課長 失礼いたしました。先ほど、ご提示させてもらったのはメニューでございまして、実際どのようなお店がどのような郷土料理を出しているかというところまでは正直、県としてPRはしておりません。民間ベースでは一部県内の出版社等からいわゆるグルメ本等で出されているところでございますけれども、今時点、県が取りまとめてどのようなお店でどのような郷土料理が出されるかというところまでは至っておりません。来年度に向けていろいろ考えているところはございますけれども、今後の県としての取り組みの課題であるかと考えております。以上でございます。

○梶川委員 わかりました。しっかりやってください。

ついでに、郷土料理、どのようなものがあるのかよくわからないところもあるのですが、例えばちょっとした民芸調の構えでいろいろな料理を食べるのもまたおもしろいのではないかと思うのですが、こういう店の店舗の改造といったようなハード面で何か補助のよう

なものがあるのでしょうか。

○乾マーケティング課長 郷土料理店のハード整備も含めました改修の支援につきましてでございます。農林部の所管ではございませんけれども、産業・雇用振興部の地域産業課で制度融資がございます。事業拡大を目指す事業者向けの資金といたしましてチャレンジ応援資金というのがございます。特にすぐれた事業計画であると認定されますと、無利子、保証料なしで融資を受けることが可能となっている制度融資がございますのでご紹介をさせていただきます。以上でございます。

○梶川委員 わかりました。やはり奈良というところは京都などとは違い、町も人も静かな性質というか、そういう点を配慮して、郷土料理あるいは民芸調の家の構えなどをつくって、客を誘致するように努力をしてほしいと思います。

次に、公園のことで2～3聞きたいのですが、1つは、平成24年か平成25年に、大和川の改修計画が国から示され、そのヒアリングへ行ったことがあるのですが、そこで、大水が出たら、大和川の河川敷で木が生えているところにあくたがひっかかるから、取るようにしてくださいという意見を言う人がありました。それをとるのも実際は大変なのですが、逆に人工的につくられた障害物ぐらひは撤去したらというので、そういう目で見ますと、竜田川の竜田公園、ここに竜田橋のすぐ下手に水位計というのですか、大水の出たときに、何メートルの水が出たかを測る水位計が川の真ん中に立っている。それにいつも大雨が出たらあくたがひっかかるのですが、これはどこの機関がなぜつくったのか。聞いたところ、県のものだと思うのですが、県も知りませんという話です。竜田公園を整備したのが今から27～28年前でしたか、そのときにつくったかどうかは知らないけれども、今は使っていないというような話もあり、公園の中のことで撤去してもらったら。あるいはこの前もそういう目で見たら、大和川のJR三郷駅の下流のほうにも何かあるので、これは国の機関のものですけれども、障害物というか水位計などは富雄川や竜田川、ほかの河川も含めて、機能してるのかどうか聞かせてほしいです。

ついでにささやかなことですが、きょうは久しぶりに大雨が降りました。竜田公園のすぐそばに住んでいるので、毎朝、雨が降ってもやりが降っても公園を歩くのです。それで、きょうもスニーカーを履いて歩きました。ちょうど3カ月ぐらい前に竜田公園の一部の園路を舗装されたのですが、それが薄っぺらな舗装だから園路の中に水がたまっているのです。水がたまっているから園路の端はもう草むらなのです。そこでもびしょびしょになるので端を歩くのも大変だ。いずれにしても水がたまるので、公園の園路、道路も一緒です

が、少しかまぼこ型か何かにしてもらって、中央の高いところは水がたまらないような舗装はできないものかと思います。行きは園路を歩いてくたくたになって、帰りはすぐ横に町道が並走しているから、もう公園から町道へ出て歩いたのです。そうしたら最近バイパスが一部完成したせいもあって、結構すれ違いの車が何台もあって、歩いていたら車が逆にとまって待ってくれるような状況があったのです。園道を、今言ったように、かまぼこ型にしたら水がたまらないのかと思うのですが、技術的には難しいことなのでしょうか。できたら今後、こんなケースの場合には考えてほしいと思うのですが、技術的なことを聞かせてほしいと思います。以上です。

○中澤公園緑地課長 2点のご質問をいただきました。まず1点は、竜田川の水位計でございますけれども、支障になっているが、誰が管理しているのか、どうするのかというお話でございました。もう1点は、竜田公園の園路の舗装についてでございます。

まず1点目ですけれども、水位計につきましては、河川管理上、非常に重要なものだと思っております。水位が上がれば周辺の住民の方々に避難していただく情報を発信するために水位計は重要なものだと思っております。ただ、公園で管理しておりませんので、あくまでも河川管理者で管理をされているものでございます。今、竜田川の水位計がどの場所についているか記憶にございませんけれども、水位を図るために河川の水中に突っ込んでおりますので、どうしてもひっかかりやすい状況になっていると思いますが、河川管理者のほうで流木等がひっかかればすぐ撤去する対応をとっていると思います。

もう1点、園路の舗装でございますが、通常の道路と同じように、当然かまぼこの形で舗装をやります。ただ、それはあくまでも幅員が4メートル、6メートルというようなところであり、当然、横に側溝といいますか、そういう排水施設もつけて一般の歩道と同じような形に対応していくこととなります。ただ、2～3メートルの狭い園路でございましたら、そういう構造物が要らないような状況については、かまぼこではなくて片勾配で排水を処理しているケースが多いのではないかと考えております。いずれにしろ、歩きやすいのが当然でございますので、その辺に配慮して設計等しておると、また施工もしておることでございます。以上でございます。

○梶川委員 まず園路ですが、おっしゃるように、幅は2メートルぐらいのものでしょうか、ロードローラーの関係でそうはいかないのかと思うけれども、片勾配でもいいですが、そういった配慮を技術的にできるものだったらしてほしいと思いますので、今後検討してください。

それと、水位計の件は、何か大事なものを撤去せよと言ったように聞こえたかもしれないが、そうではなく、きちんと機能しているのであれば水位計は必要です。この前、ここにいるのかどうか知らないけれども、私のところへ電話をしてきた人がいる。その人は、あの水位計はどこかの管理かわかりませんと言っていた。だから、誰が管理しているのか、要らないものだったら取りたいと思うのですが、1回管理者に言うといわれた。それで、きょうあえてどういう答弁があるのかと思って質問をしたら、大事なものは撤去することはできませんという言い方だけど、今、機能していないとこの前どなたかが言われたと思って言っているの、それだけのことだけれども、しっかり調査してください。

○中澤公園緑地課長 申しわけございません。そういうつもりで申し上げたわけではないのですけれども、もし使われていない水位計等がございましたら、それはやはり問題だと思いますので、河川部局に委員がおっしゃっている内容をお伝えさせていただきます。また、どのような状況か確認し、委員にご報告するように連絡申し上げたいと思います。以上でございます。

○梶川委員 結構です。

○岩田委員長 ほかにございませんか。

1点だけ聞かせてほしいことがある。土曜日にこちらへ来ることはあまりないのだが、11月22日に県立美術館の大古事記展へ、24日で七支刀が引き上げられるから、慌てで行ったのだけれども、確かに物すごい人だった。これは正倉院展と大古事記展が一緒になっているから人が多いのか、毎年今ごろはこのぐらい人が多いのですか。それを聞かせてほしい。

○中西知事公室審議官（奈良公園・観光振興プロジェクト担当） 正倉院展はもう終わっていますので、我々もびっくりしているのは、この三連休、シーズンはシーズンですが、もちろん大古事記展をやっているということもあるのでしょうけれど、もう紅葉しかない時期なのに、非常にお客さんの出がよかったと。睨委員のお言葉の中にも、京都も非常に混んでいたと。何が原因でこれだけたくさん来ていただいたかというのはまだ把握はしていないのですけれども、多分私の記憶では、ここ数年の中ではこの三連休が、一番の人出であったかと。私も奈良市内を走っていましたが、この周辺は迂回して通らざるを得ないような状況になっていて、渋滞に関しては、今まで以上にひどい状況になっていることは重々認識しています。駐車場をふやす話は昔からありますが、その場合は逆に車をこちらのほうへ呼ぶ形にもなるし、大阪へ向いての帰りがまた大渋滞を引き起こすことにもなり

ますので、できるだけあいている駐車場があるという誘導をしっかりと、この周辺にパークアンドバスライドのためのぐるっとバスがスムーズに入ってこられるようにしたいと考えております。以上でございます。

○岩田委員長 わかりました。

ほかになれば、これをもちまして質疑を終わりたいと思います。よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

それでは、理事者の方のご退席お願いいたします。大変ご苦労さまでした。

(理事者退席)

それでは、本日の委員会を受けまして委員間討議を行いたいと思います。

まず、平成27年2月定例会において調査を終了し、その成果を報告するわけですが、お手元に調査報告書の素案と素案の概要を配付しておりますので、後刻お目通しいただきましてご意見等をいただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

なお、この報告書(素案)の構成または成果の取りまとめとなる提言についてのご意見、あわせて各委員におかれまして観光振興に対するお考えがありましたら、この機会ですのでご発言をお願いいたします。

それでは、各委員からのご意見があればお願いいたします。

○粒谷委員 委員長、これは一遍持ち帰って、何かあったら委員長にこうしてほしいと申し出たらいいのではないですか。いったん事務局を通じて委員長に申し出る。

○岩田委員長 それでは、この素案、概要と2つお手元にありますが、これに目を通してもらって、これ以外にご意見がありましたら、事務局に申し出てください。それでよろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

それでは、これをもちまして委員間討議を終わります。

本日の委員会を終わります。